

西部電機株式会社

証券コード 6144

第91期 株主報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで



中期経営計画に基づき、サステナブルな社会の実現と 企業価値のさらなる向上を図ってまいります。



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第91期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長 一 幸 所 税

Q 当期の業績について教えてください。

A 受注高は前期に次ぐ過去2番目、売上高は過去最高額となり、経常利益、純利益ともに増益となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中で、人手不足を背景とした省力化・省人化ニーズのほか、デジタル化・脱炭素化の流れから企業の堅調な設備投資等もあり、景気の改善傾向が続いてまいりました。一方、資源価格の高騰や物価高の継続的な影響、世界的な金融引き締めや中国経済の減速による世界的な景気後退の懸念もあることから、先行き不透明感が高まっております。

この様な情勢の中で、2021年度から2023年度までの中期経営計画「チャレンジ280」の最終年度として、どのような環境下にありま

しても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。さらに、中期経営計画に基づきESG(環境・社会・ガバナンス)重要課題やSDGsに取り組むことで、サステナブルな社会の実現と企業価値のさらなる向上を図っております。

その結果、当社グループの連結業績は、受注高は315億4百万円(前期比4.2%減)となり、前連結会計年度に次ぐ過去2番目の記録となりました。売上高は、すべての報告セグメントにおいて前連結会計年度を上回ったことにより319億4千5百万円(前期比12.2%増)で初めて300億円超えを達成し、これまで最高であった2018年度を上回る過去最高額となりました。損益においては、原材料・資源価格の高騰等もありましたが、価格転嫁等による売上高の増加やコストダウンを進めたことにより経常利益は28億7千6百万円(前期比13.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は19億7千7百万円(前期比9.5%増)となりました。

なお、次期の連結業績は、売上高332億5千万円、経常利益30億7千万円、親会社株主に帰属する当期純利益20億8千万円を見通しております。

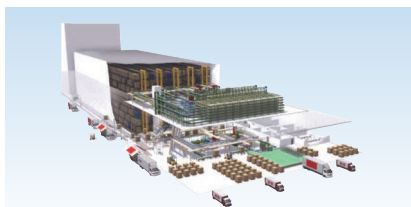
Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A 期末配当金は、1株につき20円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当期の期末配当につきましては、当初の予定通り20円とさせていただきますと存じます。この結果、中間配当金を含めました当期の配当金は、1株につき40円となります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

西部電機は 「超精密とメカトロメーション®の追求」を理念に 多彩な技術で明日を拓くメカトロニクスメーカーです。



搬送機械事業



産業機械事業



精密機械事業

SDGsへの取り組み ～西部電機が取り組む5つのテーマ～

当社は「我々のロマン*」のもと、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に向けた取り組みを加速させるため、
「西部電機 (SDGsへの取り組み)」を策定いたしました。
課題を特定し、中期経営計画における目標展開を図ることで、戦略的なサステナビリティの推進を図ります。

1 超精密とメカトロメーションが生み出す、
味のある製品で世界へ貢献



2 地球環境との共存を目指した
モノづくりの実現



3 すべての人へ安全と安心を提供



4 経営基盤強化と社会的責任の追求



5 人材育成と多様な働き方への取り組み



搬送機械事業 2023国際ロボット展 出展

2023年11月29日からの4日間、東京ビッグサイトにて世界最大規模のロボット専門展、2023国際ロボット展が開催されました。当社は『生産者と消費者をつなぐ物流のBest Solutionを提供』をコンセプトにシャトル式自動倉庫[RENATUS]と協働ロボットを出展し、物流分野の自動化や部品のキット化作業の生産性向上をアピールしました。

この「RENATUS」は、従来のシャトル式自動倉庫の直進・往復動作だけでなく隣のレーンへの横移動を実現し、最少台数でのシステム構築が可能となりました。これらのロボットソリューションを強みとした他社との差別化により、受注拡大を図ります。

今後もスピード感を持って、製販一体となりお客様の課題解決に取り組んでまいります。



搬送機械事業 顧客ニーズに合わせた製品開発「吸着式フェースピッカー」



当社の従来型フェースピッカーは、4面から把持を行い面単位にケースを持ち上げて移動する仕様でしたが、面の構成によっては力が加わりづらく、ケースをすべて持ち上げることができない事象が発生しておりました。

今回、お客様より「多種多様な積み付けパターンでも全自動でパレットを移動したい」「ケースの中の製品、ケース本体に一切傷を付けたくない」とのご要望を受け、課題解決へ向けて改良版の開発に取り組みました。

完成した「吸着式フェースピッカー」は、従来の把持式から吸着式へと改良したことで、多様な積み付けパターンへ対応しつつ、製品・ケースを傷付けない移動を実現することができました。今回のお客様と同様に、省力化・省人化の流れを背景とした積み付けパターン多様化のニーズは高まっており、今後の受注拡大が大いに期待できます。

今後もお客様のニーズに応え、ご満足いただける製品開発を進めてまいります。

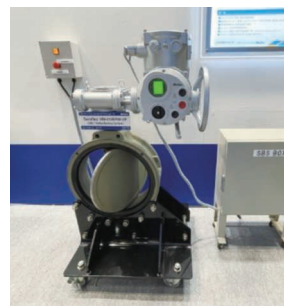
産業機械事業 Sガス株式会社様向け「SBS (Seibu Backup System)」受注

Sガス株式会社様より、各家庭に都市ガスを供給するため福岡県内13ヶ所に配置されているステーション（ガスの圧力調整や緊急時に遮断する設備）のうち、2ステーション分のバルブアクチュエータ更新（全8台）および「SBS (Seibu Backup System)」の受注をいただきました。

SBSは異常気象におけるブラックアウト（大規模停電）対策をメインターゲットに開発したシステムであり、今回の受注は、長年に亘る『機能性およびメンテナンス費用削減』に関する提案が高く評価された結果となります。

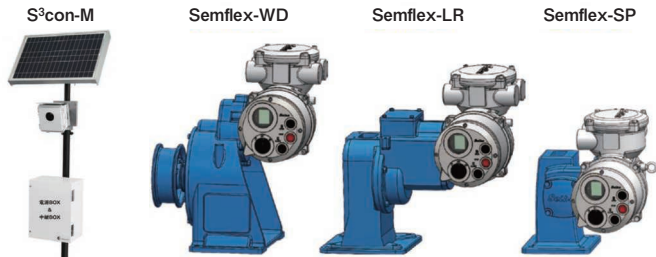
2024年2月の現地工事においては、各家庭へのガス供給を停止することができないという制限がある中、Sガス株式会社様の協力のもと、無事完遂することができました。

今後は残りのステーションの更新工事、更には他市場へ展開・拡販へ向けて製販一体で取り組んでまいります。



産業機械事業 新機種 ソーラー発電による簡易電動化型ゲート駆動装置の開発

民需およびゲート市場拡販とストックビジネスへの取り組みに向けて、ゲート駆動装置としてワイヤーロープウィンチ式の「Semflex-WD」・ギヤラック式の「Semflex-LR」の開発に続き、ピンラック式「Semflex-SP」を開発いたしました。これらの製品は、当社既存製品の手動ゲート駆動装置を簡易電動化・自動化したもので、省力化・省人化を実現するものとして評価されています。



併せて、ソーラーによる発電をバッテリーに蓄電し、商用電源不要で駆動を可能とする「SBS+S」および河川状況の画像と駆動装置の状態を手元の携帯端末機器で確認できるシステム「S²con-M」を新たに開発し、これらを組み合わせることで更なる省力化・省人化が可能となりました。

これらの開発機の特長を活かし、防災・減災・人手不足対策として農業水利市場への受注拡大を図ってまいります。

精密機械事業 米国における合併会社 “Seibu America Corporation” 設立

米国でのワイヤ放電加工機の市場は主に自動車、医療、航空宇宙、エレクトロニクス、金型製造が主流となっており、特に医療、航空宇宙系は今後更に成長が見込める市場であります。

当社グループとしては、更なる業績の拡大と共に事業ポートフォリオを形成すべく、この度、兼松KGK様との連携強化および共同出資により、合併会社を設立いたしました。工作機械、産業機械、搬送機械の販売および関連サービスの提供を行い、米国内での“Seibu”ブランド価値向上と事業機会の獲得を目指してまいります。

Seibu Americaの設立に先立って、まずはワイヤ放電加工機の北米地区での顧客満足度の維持・向上およびサービス体制に対する安心感の提供を推進し、北米地区における更なる成長を実現してまいります。



精密機械事業 超精密自由形状内面研削盤「USFG」の販売開始

既存機種「SFG」の強みである切削+研削をワンチャッキングで可能にする“ハイブリッド工法”を維持しつつ、加工精度をより一層高めた新機種「USFG」の販売を開始しました。

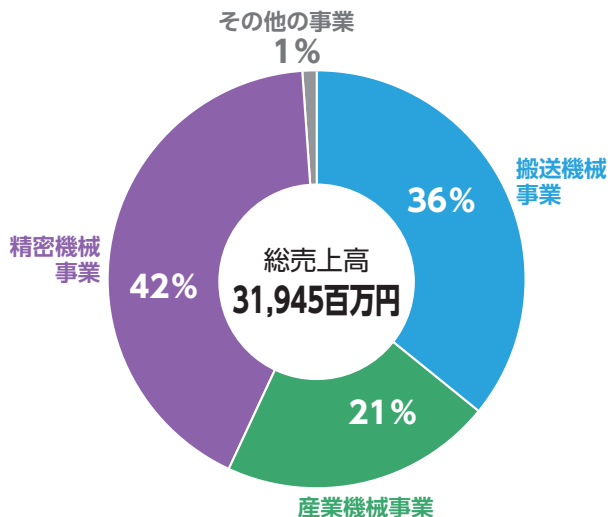
「USFG」は、駆動軸にリニアモータ駆動の静圧スライドを採用し、0.1 μ m指令の送りに正確に追従します。更には、静圧主軸搭載により回転精度が向上し、外径切削加工（標準テストピース）において真円度0.1 μ m以下の加工を実現しました。これまで以上の形状精度を強みに、光学業界の高精度化ニーズへの対応、受注拡大が期待できます。また、静圧構造のため摩擦抵抗がゼロであり、半永久的に精度維持が可能なお点も大きな特長です。

今後も、より高精度かつ使いやすい製品となるよう、開発に取り組んでまいります。

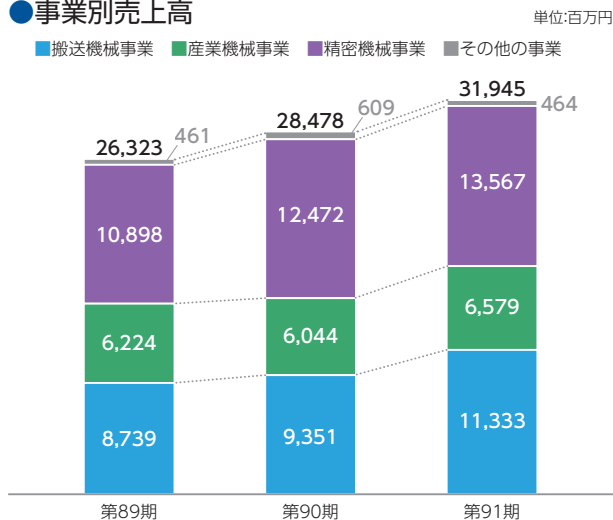


主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

● 事業別売上高構成比



● 事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **11,333**百万円

(前期比 21.2%増)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野等にピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は自動化や省人化の高まりを背景に流通業界や電気機器業界向けの物件の成約などがあり120億1千7百万円(前期比0.7%増)、売上高は電池業界や耐火物メーカー向け、自動車・半導体関連の物件などがあり113億3千3百万円(前期比21.2%増)となりました。

主要製品

- 立体自動倉庫
- FMSシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクス・マテハン[®]

FMSシステム (DIOシステム)



ロボティクス・マテハン[®] (トランシップ・カートローダー)



ロボティクス・マテハン[®] (カートケースローダー)



産業機械事業

売上高 **6,579**百万円

(前期比 8.8%増)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンス及び新たな取り組みとして全国キャラバン活動による既存ゲート設備の電動化の提案に注力してまいりました。その結果、受注高は66億8千5百万円(前期比2.9%増)、売上高はゲート駆動装置やサービス・メンテナンス及びアメリカ向けの輸出等が増加し65億7千9百万円(前期比8.8%増)となりました。

主要製品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型チェーン式)



精密機械事業

売上高 **13,567**百万円

(前期比 8.8%増)

精密機械事業では、半導体市場や電気自動車関連の需要はあるものの中国の景気減速の影響や国内需要の一服感もあり、受注高は123億3千8百万円(前期比10.8%減)、売上高は製品の生産・出荷が順調に推移し135億6千7百万円(前期比8.8%増)となりました。

主要製品

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 高精度小形NC旋盤
- 高精度自由形状内面研削盤
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MM50UP)



高精度自由形状内面研削盤(SFG-35HP)



連結財務諸表(要約) ・ *Financial Statements*

単位：百万円（金額は単位未満を切り捨てております。）

連結貸借対照表

科 目	第90期 2023年3月31日	第91期 2024年3月31日	科 目	第90期 2023年3月31日	第91期 2024年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	25,070	26,890	流動負債	12,667	15,322
現金及び預金	11,121	11,936	支払手形及び買掛金	2,186	2,495
受取手形、売掛金及び契約資産	8,135	7,639	電子記録債務	6,135	7,518
電子記録債権	2,014	3,004	短期借入金	416	416
仕掛品	1,243	1,435	未払費用	1,696	1,794
原材料及び貯蔵品	2,313	2,537	未払法人税等	564	627
その他	242	337	契約負債	910	961
固定資産	20,045	23,237	役員賞与引当金	78	79
有形固定資産	12,312	13,934	その他	679	1,429
建物及び構築物	3,035	5,411	固定負債	4,037	4,257
機械装置及び運搬具	2,112	2,465	繰延税金負債	743	1,089
土地	4,985	4,985	再評価に係る繰延税金負債	1,477	1,477
建設仮勘定	1,888	830	役員退職慰労引当金	11	14
その他	291	241	製品保証引当金	506	423
無形固定資産	243	579	役員株式給付引当金	23	33
投資その他の資産	7,489	8,724	退職給付に係る負債	1,103	1,093
投資有価証券	5,883	6,782	長期未払金	61	29
繰延税金資産	39	42	その他	109	94
退職給付に係る資産	1,497	1,835	負債合計	16,704	19,579
その他	68	64	純資産の部		
			株主資本	21,546	22,923
			資本金	2,658	2,658
			資本剰余金	2,616	2,616
			利益剰余金	16,335	17,707
			自己株式	△63	△58
			その他の包括利益累計額	6,864	7,624
			その他有価証券評価差額金	3,451	4,022
			土地再評価差額金	3,371	3,371
			退職給付に係る調整累計額	41	230
			純資産合計	28,411	30,548
資産合計	45,116	50,127	負債純資産合計	45,116	50,127

■ 連結損益計算書

科 目	第90期	第91期
	2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	28,478	31,945
売上原価	20,701	23,329
売上総利益	7,777	8,616
販売費及び一般管理費	5,365	5,833
営業利益	2,411	2,782
営業外収益	128	137
営業外費用	9	43
経常利益	2,530	2,876
特別利益	9	0
特別損失	53	65
税金等調整前当期純利益	2,485	2,811
法人税、住民税及び事業税	543	822
法人税等調整額	136	10
当期純利益	1,806	1,977
親会社株主に帰属する当期純利益	1,806	1,977

■ 連結包括利益計算書

科 目	第90期	第91期
	2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
当期純利益	1,806	1,977
その他の包括利益	△31	759
包括利益	1,774	2,737

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第90期	第91期
	2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,334	3,712
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,280	△2,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△717	△640
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,662	864
現金及び現金同等物の期首残高	13,654	10,991
現金及び現金同等物の期末残高	10,991	11,856

■ 連結株主資本等変動計算書

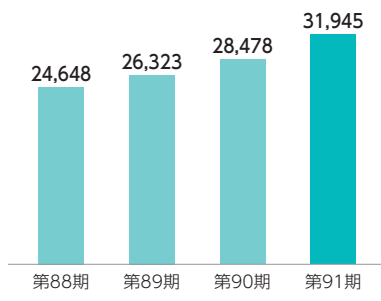
第91期 2023年4月1日から2024年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益 累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,616	16,335	△63	21,546	6,864	28,411
当期変動額							
剰余金の配当			△605		△605		△605
親会社株主に帰属する当期純利益			1,977		1,977		1,977
自己株式の処分				5	5		5
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						759	759
当期変動額合計	—	—	1,371	5	1,376	759	2,136
当期末残高	2,658	2,616	17,707	△58	22,923	7,624	30,548

連結業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

科 目	第88期 2020年度	第89期 2021年度	第90期 2022年度	第91期 2023年度(当連結会計年度)
売上高 (百万円)	24,648	26,323	28,478	31,945
経常利益 (百万円)	2,397	2,827	2,530	2,876
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,632	1,942	1,806	1,977
1株当たり当期純利益	107円98銭	128円69銭	119円65銭	130円95銭
総資産 (百万円)	39,889	43,252	45,116	50,127
純資産 (百万円)	25,519	27,319	28,411	30,548
1株当たり純資産額	1,690円50銭	1,809円62銭	1,882円01銭	2,022円88銭
自己資本比率 (%)	64.0	63.2	63.0	60.9

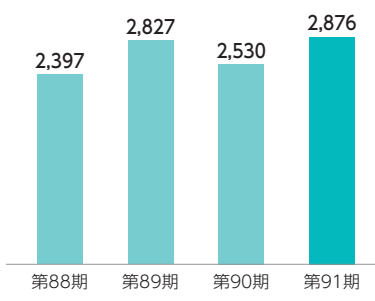
売上高

単位：百万円



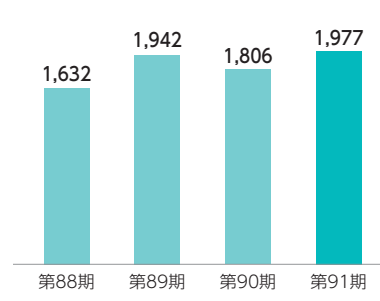
経常利益

単位：百万円



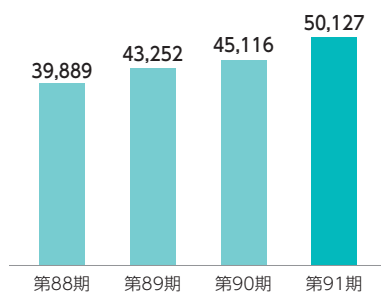
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



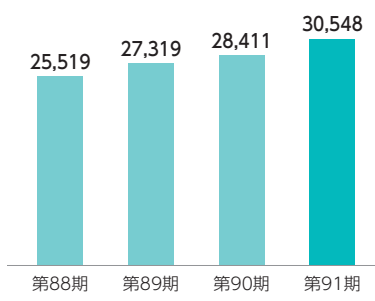
総資産

単位：百万円



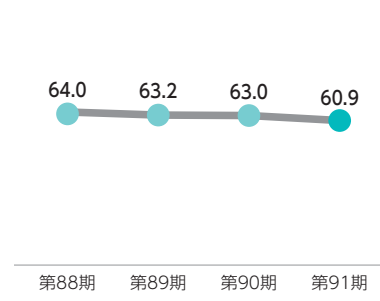
純資産

単位：百万円



自己資本比率

単位：%



2024年3月31日現在

会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	565名(連結620名)

取締役及び監査役 2024年6月27日現在

代表取締役社長	税所 幸一
取締役専務執行役員	後藤 俊哉
取締役常務執行役員	佐藤 徳生
取締役常務執行役員	溝田 安彦
社外取締役	馬場 信哉
社外取締役	福田 俊仁
常勤監査役	坂木 久佳
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

執行役員 (取締役兼務者を除く) 2024年6月27日現在

上席執行役員	村上 光平
上席執行役員	松下 和宏
執行役員	新貝 幸樹
執行役員	松本 順司
執行役員	柳瀬 哲也

株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	2,415名

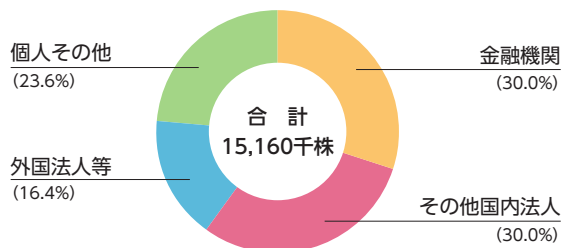
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,701	11.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,545	10.1
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	706	4.6
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	415	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,364株)を控除して計算しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の信託財産として信託が保有する当社株式48,200株は含まれておりません。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から2023年12月20日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2023年12月13日現在同社が3,911,700株(保有割合25.80%)を所有している旨が記載されております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内
当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等で 株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部
未払配当金、その他当社株式関係書類のお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
ご 注 意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。



株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を上向きさせ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1)対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2)優待内容	保有株式数100株以上でフオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3)贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)

